

介護保険制度の充実について

【担当省庁】厚生労働省

市町村における取組

（現状・課題）
平群町と安堵町は、高齢化率がそれぞれ約39%と37%であり、今後も更なる上昇が見込まれる。それに伴い要介護認定者数の増加による介護給付費の増加は避けられないところである。

第9期介護保険事業計画策定では、保有する基金を保険料上昇抑制のために投入し、可能な限り負担増の抑制に努めたが、前期と比較した基準額は、平群町で790円／月（16.4%）、安堵町で300円／月（4.7%）の負担増となった。

一方、今後のさらなる高齢化に向けて、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送るため、地域包括ケアシステムの深化・推進、増加し続ける介護ニーズと財源負担への対応を目的とし、健康寿命の延伸に向けた介護予防や健康づくりの推進、地域のつながり機能やマネジメント機能の強化等、以下の通り取り組んでいる。

【平群町】
高齢者に対して、地域において「いきいき百歳体操」（15か所で実施）や専門職の教室（高齢者の保健事業と介護予防等の一体型の実施であり、理学療法士や保健師、管理栄養士等の指導）等の介護予防事業を実施している。これにより、体操の仕方の再確認や栄養、口腔等について学んでいたき自主予防の大切さやモチベーション維持を図っている。

また、認知症施策として、認知症サポーター養成講座、地域支援推進員やオレンジカフェによる啓発などの活動、認知症講演会開催など認知症予防や普及啓発活動を実施している。

高齢化が進む中、保健福祉事業で、免許証の返納や家族状況によって移動手段が制限されることによるフレイル状態を予防するため、デマンド乗合タクシーを運行し外出支援を行うことで介護予防や生活支援を図っている。

【安堵町】
高齢者に対し介護予防事業として、地域において「いきいき百歳体操」（14か所で実施）や高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施として、理学療法士や歯科衛生士など専門職の派遣を行うことで体操の仕方の再確認や栄養、口腔等について学んでいたき自主予防の大切さやモチベーション維持を図っている。また、認知症施策として、中学校で認知症

サポーター養成講座、認知症地域支援推進員やチームオレンジ安堵による啓発などの活動、認知症講演会開催、オレンジかふえあんの開催など認知症予防や普及啓発活動を実施している。

■第9期介護保険事業計画より将来の総給付費と保険料基準額見込み

平群町	第9期			第11期
	R6	R7	R8	R12
給付費見込み額(千円)	1,953,613	2,048,410	2,147,565	2,321,273
保険料基準額(円)	5,610			7,243
安堵町	第9期			第11期
	R6	R7	R8	R12
給付費見込み額(千円)	770,992	799,316	811,206	909,240
保険料基準額(円)	6,700			8,814

団塊の世代の介護ニーズが高まっていく中、介護保険料の上昇や第2号被保険者の負担増が予測される。介護保険特別会計は、国、県、町、65歳以上の方が負担する第1号被保険者介護保険料、そして40歳～64歳の方が負担する第2号被保険者介護保険料において、法定の負担割合で構成されている。

介護保険サービスの需要拡大に伴い、国、県、町、第1号被保険者介護保険料、第2号被保険者介護保険料それぞれの負担が大きくなると考えられる。なかでも年金収入から介護保険料を負担する第1号被保険者介護保険料は、次期介護保険事業計画策定時には更なる大幅な増額となることが見込まれる。

国にお願いすること

今後も安定した介護保険制度を維持・継続するため、国庫負担割合の引き上げ、調整交付金の増額財源確保はもとより、保健福祉事業費・市町村特別給付事業への国費補助などの分配方法および制度の見直しをお願いする。

【担当部署】 奈良県市長会・奈良県町村会